

今月のトピックス

リボ払いは危険？正しく知って、正しく利用

今月のグッズ紹介…キッチンの強い味方！ニトリの「カット式台ふきん」が便利すぎる！

かんたんレシピ…エスニック風焼きなす

知っておきたい風水学…リビングとインテリアの風水「運気を呼び込む 3 つのポイント」

終活と断捨離を取り入れたリフォームで、自分らしい未来をつくる



今月の言葉

"家とは壁や梁でできているが、家庭は愛と夢で作られる"

家は壁や梁で形作られますが、本当の「わが家」になるのは、そこに愛情や夢が込められたとき。新しい住まいでの暮らしが、ご家族にとって温かく幸せなものになりますように。(Ralph Waldo Emerson、1803 年-1882 年)

わたなべ@イマジンの大きなひとりごと

みなさんこんにちは、アトリエイマジンの渡部です。今年の夏は暑かったですね・・・例年であればお盆を過ぎると秋の気配がするのですが、今年は9月になっても夏日があります。このまま秋が無くなって冬になってしまいそうですね。

暑いと言えば、今年の6月1日から労働安全衛生規則が改正され熱中症の重篤化を防止するための職場における熱中症対策の強化が義務付けられました。これに関しては今年年初の協力業者を含めた全体研修で熱中症予防対策をしており、夏は私たちの現場作業ではとても過酷な季節となり、何点か対策をしておりました。①塩飴の配布②スポーツドリンクの配布③手を冷やすクーラーボックスの設置④現場へのクーラー設置などです。

その中でも断熱工事が終わった段階での現場クーラー設置は思いのほか効果があったと思います。

クーラーといっても壁付けのエアコンではなく、ポータブルクーラーですが、新築での断熱工事が終わっているので 2.2kw (約6畳用) の容量でも外から中に入ってくると明らかに温度が違いました。扇風機を併用すると快適に作業が出来たようです。



そしてこんなに暑い日が続くと体重も落ちますね。最近会う人から良く言われるのが「痩せましたね」という言葉です。実はこの2年くらいで 13kg ほど体重が落ちています。「病気ですか」とよく言われますが、趣味の登山の回数を今年は増やしました。羽黒山の石段は数知れず、月山や鳥海山、県外は栃木県にある男体山など様々な山に登りました。これがあからさまに減量につながっています。



今の体重が私のベスト体重になりますのでこれからも維持していきたいです。

リボ払いは危険？正しく知って、正しく利用

リボ払いとは

リボ払いとは「リボルビング払い」の略で、クレジットカードの利用金額や利用件数に関わらず、毎月の支払金額が一定になる仕組みです。リボ払いの利用金額は支払残高に組み込まれ、「毎月 1 万円ずつ支払う」といったように、月々の支払金額を自分で設定できます。一般的に、毎月の支払いを 1 万円に設定した場合は、どんなに買い物をして支払金額が 1 万円 + 手数料となり、利用残高がなくなるまで支払い続けます。



リボ払いのデメリット

【支払いが長期化】

リボ払いだからと安心して買い物をしすぎた結果、いつまで経っても支払いが終わらないというケースは少なくありません。支払いが長期化すればその分手数料がかさむため、支払総額が増えることになります。

【手数料が高め】

リボ払いの手数料は高い傾向にあります。さらに、追加で買い物をすれば支払残高が増えて、完済までの手数料負担も増えていく仕組みです。

【リボ残高が減らない??】

リボ払いの落とし穴は「支払額が一定であること」。リボ払いには毎月手数料がかかります。そのため残高に対して月々の返済額が小さければ、返済額の多くを手数料（利息）が占めます。すると残高がいつまで経っても減らずに、延々とリボ払いの返済を続けていくことになってしまいます。たとえば、**100 万円を月 1 万円で返済する場合（手数料年 15.0%）、返済が完了するまでに 11 年 3 ヶ月かかる上、手数料を約 44 万 4 千円支払わなければなりません。**毎月 1 万円という返済額は大きいようにも思えますが、元金の 100 万円に対してはわずか 1%に過ぎないためです。このように、元金に対する返済額が少ないと返済期間は伸びるだけでなく、総返済額も増えてしまうのです。なかなか借金総額が減らず、利息ばかり払い続けることになります。

リボ払いは危機を感じづらい

リボ払いを含むクレジットカードは一般的に、毎月銀行口座から自動的に引き落としがなされます。このとき、リボ払いの設定金額が少なく元金が減ってない状態でも、毎月引き落としがなされているため、「きちんと支払っている」と錯覚してしまいがちです。「リボ払い」という仕組みの中に、“借金”を感じさせないような「罠」が巧みにビルトインされているのです。気がついたら到底返済できないくらいの金額に膨れあがっているケースも少なくありません。

リボ地獄に陥らないための対策

リボ専用カードを**つくらない**（自動リボ設定にしない）・そもそもリボ払いを**選択しない**・利用してしまったらすぐ**一括返済する**

リボ払い＝即危険というわけではなく、自分の支払能力を把握して無理のない利用を心がけることができれば問題ありません。しかしリボ払い利用限度額に達したり、支払いを延滞したりした場合、**住宅ローンの借り入れにも影響がある**かもしれないことをおぼえておきましょう。新規で住宅ローンを組もうと検討されている方はもちろん、住宅ローンの借り換えにも審査があります。住宅ローンの審査では、申込者本人が金融機関側からいかに信用を獲得できるかが問われます。クレジットカードのリボ払いを利用する分には問題ありませんが、あまりにも支払残高が大きくなっていると「借金に対して意識が甘い」などといった印象を与えかねません。リボ払いの残債がある人は、審査を受ける前にできるだけ完済しておきましょう。同時に、不要なカードローンやクレジットカードは解約しましょう。



今月のグッズ紹介

キッチンの強い味方！

ニトリの「カット式台ふきん」が便利すぎる！

毎日のキッチン掃除、できるだけ手軽に済ませたいですね。そこでおすすめなのが、ニトリの「カット式台ふきん」！ロールタイプで、自分の好きな長さにカットできるので、無駄なく使えます。普通の布ふきんは洗って乾かす手間がかかりますが、これは使い捨てできるから衛生的！水に濡らしても破れにくく、テーブルやキッチン周りの汚れをサッと拭き取れます。さらに、吸水性が良く、食器拭きとしても優秀！しっかり拭き取れるのに、毛羽立ちにくいので、グラスやお皿もピカピカになります。また、使い終わったら気軽に捨てられるので、生乾き臭や雑菌の心配もなし。コストも良く、料理の下準備やちょっとした掃除にも大活躍します。

「毎日の掃除をもっとラクにしたい！」という方は、ぜひ一度試してみてください。ニトリならではのお手頃価格で、キッチンライフが快適になりますよ！



◆エスニック風焼きなす



食材・調味料

米なす：1本

タイム：数本

パセリ：適量

クミン：小さじ 1/2

パプリカ：小さじ 1/2

セロリソルト：小さじ 1/2

松の実：大さじ 1

オリーブオイル：大さじ 1

クミンを効かせた香り高い焼きなす。
松の実とタイムの香りがアクセントになります。



Cooking Instructions

01

なすはヘタを取らずに縦半分に切り、切れ目を入れる。

02

オーブントレーに並べ、オリーブオイルを塗って
クミン・パプリカ・セロリソルトをふり、タイムを乗せる。

03

180℃のオーブンで 20～30 分、焼き色がつくまで焼く。

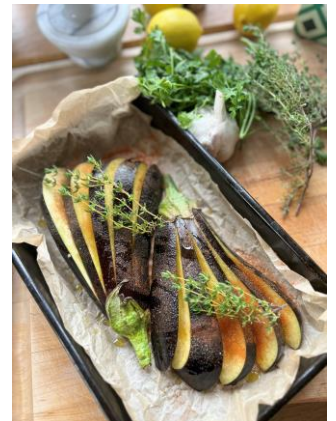
松の実をふり、さらに 5～10 分加熱する。

04

器に盛り、パセリと好みでピンクペッパーを散らす。

ワンポイント

日本のなすでもおいしく作れます。セロリソルトがない場合は、ハーブソルトやクレイジーソルトで代用可能です。



知っておきたい風水学。

リビングとインテリアの風水「運気を呼び込む 3 つのポイント」

リビングは家族が集まりリラックスする場であり、風水でも重要視されています。ここでは、運気を上げるためのインテリアの工夫を 3 つ紹介します。

まず、温かみのある照明でポジティブな空間を演出しましょう。自然光に近い柔らかな明かりが理想で、特に夕方からは間接照明が効果的です。リビング全体が落ち着き、家族間のコミュニケーションも円滑になります。

次に、インテリアカラーは、白やベージュ、淡いグリーンなどが適しています。これらは心を落ち着かせ、家族の絆を深める効果があります。クッションや小物に赤やオレンジのアクセントを取り入れることで、空間に活力が生まれます。

最後に、観葉植物で新鮮な「気」を取り込みましょう。丸い葉や柔らかな葉を持つ植物を窓辺やコーナーに配置すると、リビングが活力ある空間になり、調和のとれたエネルギーが流れます。これらの工夫でリビングが活気に満ち、家族の運気を高める空間になるでしょう。



終活と断捨離を取り入れたリフォームで、自分らしい未来をつくる

人生のステージが変わるとき、自分自身の暮らしも見直していく必要が出てきます。高齢者向けの終活や断捨離は「いつかのための話」ではなく、今の私たちにとっても大切な選択肢の一つです。年齢を重ねる中で、今の家をどれだけ快適に保てるかは、自分の未来に大きな影響を与えます。リフォームを通して、住まいを整理し、長く安心して過ごせる空間に整えておくことが、将来への備えとして必要です。

まず、終活や断捨離の視点から、家の中にある「もの」を見直してみましょう。思い出の品も多くありますが、今の自分にとって必要なもの、使いやすいものを優先することが大切です。整理することで生活スペースが広がり、部屋に心地よいゆとりが生まれ、過ごしやすさが向上します。リフォームで収納を工夫し、生活動線が整えられると、日々の家事や移動もより簡単になります。また、これからの自分のために、家の安全対策も重要です。段差の解消や手すりの設置は、少し先の自分が安心して過ごせるために必要な工夫です。例えば、浴室やトイレには滑りにくい床材を選び、寒い冬でも暖かい環境を整えることで、転倒やヒートショックのリスクを減らせます。こうしたリフォームは、未来の自分にとって必要な「暮らしの保険」といえるでしょう。キッチンやリビングの収納を引き出し式にするなど、物を取り出しやすくする工夫も、少しの配慮で家事が楽になります。自分に合った配置に整えることで、身体に負担がかからない住まいが実現し、暮らしが一層豊かになります。

古い家に住んでいる場合、終活の観点から「減築を伴う改修」は有効な選択肢となります。特に、地方の広い土地に建てられた昔の家は、二世帯や三世帯で暮らすことを前提にした広い間取りが多く、高齢者には広すぎて維持が大変なことも少なくありません。そんな背景を踏まえ、減築とは、家の一部を取り壊し、より少ないスペースで生活することを意味します。以下のような理由から、減築は特に高齢者にとってメリットが多いと言えます。

【メンテナンスの簡素化】 古い家は広い面積を持つことが多く、定期的なメンテナンスや修理が必要です。減築することで、手入れがしやすくなり、負担を軽減できます。

【生活空間の最適化】 不要な部屋やスペースを減らすことで、必要な機能だけを残し、生活動線が明確になります。これにより、日常生活がスムーズになり、快適さが向上します。

【安全性の向上】 古い家は段差や狭い通路が多いことが一般的です。減築を通じて、バリアフリーを意識した設計に改修することで、安全に生活できる環境を整えることができます。

【経済的なメリット】 減築によって住宅の維持費を削減できるため、光熱費などの経済的負担も軽減されます。老後の資金管理においても、重要なポイントとなります。

【心の整理】 物理的に空間を減らすことで、不要な物の整理も進みます。心の整理につながり、精神的な安定をもたらします。

このように、古い家に住む方にとって、減築を伴う改修は生活の質を向上させるだけでなく、将来的な安心感をもたらす大切な選択肢となるでしょう。「減築」という言葉はあまり耳にしないかもしれませんが、実は生活を見直すうえで非常に有効な手段なのです。私たち大工職人は、古い家をまるで新しい家のように再生するプロです。年を重ねる前に計画的に考えておくことで、より豊かな老後を実現するための基盤を築くことができます。ぜひご相談ください。

身体的制約と

感情的負担がもたらす影響

高齢になるにつれて、身体的な動きが制限されることや、感情的な負担が増えるという現実は、多くの高齢者にとって深刻な問題となります。例えば、階段の上り下りや重い物を持ち運ぶことが難しくなり、日常生活においても不便を感じるが増えます。こうした身体的な制約は、買い物や掃除、さらには趣味を楽しむことにも影響を及ぼし、活動範囲が狭まることで孤立感を深めることがあります。また、長年の思い出や愛着のある物を手放すことに対して、感情的な抵抗感を抱くことも少なくありません。特に、引っ越しや大掃除を考えるとときには、過去の出来事や人との絆を思い起こし、悲しみや不安が伴うことが多いのです。このように、身体的な制約と感情的な負担が重なり合うことで、高齢者は生活の質が低下することに悩むことになります。だからこそ、早めに準備を進め、整理整頓を行うことが、自身の健康や幸せにつながる重要なステップであると言えるでしょう。



終活や断捨離を意識して住まいを整えることは、今後の自分に向けたエールでもあります。心地よく暮らせる空間づくりを今から始めることで、これからも自分らしい暮らしが続けられるのです。

新築・リフォーム・家具・修繕補修。
住まいのことなら何でも
アトリエイマジンにご相談ください。



有限会社アトリエイマジン
山形県鶴岡市大宝寺字中野 142-7



0120-910-348

